

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ユスタバ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 3月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 3人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内で、学校支援に入っているため、学校の様子を事業所側として聞くことが出来、子どもの様子を学校・学校支援の職員・事業所・保護者などと共有したり支援内容を検討が出来ます。	学校の様子を、下校時の子どもの様子はもちろん、学校支援の職員からも情報を聞き、学校とも連携できるようにしています。	子どもの気持ちに寄り添って支援をするためにも、信頼関係を深めて気持ちが言える関係を構築します。
2	保護者との事業所内相談や、他にもコミュニケーションを細目にとることで過程の困り感を知り、必要な支援・制度につなげていく事が出来ます。	必要に応じて、ショート・ヘルパー・土曜利用等を勧め、家族支援を行っています。	仕事などで細目に連絡がとりづらい家庭にも、繰り返し連絡を取ります。
3	研修やクラス会議・GSV等を通して、日頃の事業所の支援内容を振り返る事や利用児一人一人の発達支援の振り返りも出来、翌日からの支援につなげることが出来ます。	沢山の研修の機会や、日頃の会議やGSVでの内容を療育にいかし、より良い療育につなげています。	積極的に学ぶ姿勢と、学びを療育にいかす職員となります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	20名定員だったので、一人一人の支援が丁寧に行われているか、不安もありました。	担当分けをしっかりと分担する等、工夫します。	分担しても情報の共有は大切にしていきます。
2	子ども達一人一人の気持ちをゆっくり聞く時間が取れる時と時間がとれない時がありました。	計画の中に活動面が主になり、話しを聞く時間の計画が立てられなかったです。	計画的に日程を組み、定期的に子ども達の話しを聞く時間を作るのにプラスして、子どもが気持ちを聞いてほしい時等にはすぐに聞けるようにします。
3			